



YumeSHIN

# 第36期 中間株主通信

2013年10月1日～2014年3月31日

インタビュー 新役員に聞く

## 企業価値の向上に努めるとともに、 建設業界発展のために尽力

事業の概況と中期経営計画の進捗について

### 特集 1

株主数の推移について

株主様の数が大幅に増加

### 特集 2

建設業界で注目！

女性施工管理士に聞く

株式会社 夢真ホールディングス

[証券コード:2362]

### 株主さまとともに

透明性のある企業経営を実践し、健全な成長・安定した還元に努めます。

### 従業員とともに

独自の研修プログラムで、ひとりひとりの成長を援助します。

### お客さまとともに

必要な時に・必要な人数・必要な場所に・必要なスキルを持った人材を提供します。

### 社会とともに

新卒・若手の人材を積極的に採用し雇用の創造に努めます。

# 人と人とのめぐり合いで みんなの夢を真にする会社

当社の社名「夢真」には、読んで字のごとく、「夢を真（まこと）にする」という意味が込められています。

人と人とは他人に思っても必ずどこかで繋がっています。

人と人がめぐり合うことで道は開け、可能性は無限に広がっていきます。

当社は、株主さま、お客さま、従業員、

そして夢真グループにかかわるすべての方々の可能性を追求し、

その夢を真にすることをミッションと考えています。

## 夢真ホールディングスグループの事業領域



株式会社夢真ホールディングス  
建築技術者派遣事業



株夢テクノロジー  
エンジニア派遣事業



株我喜大笑  
子育て支援事業  
医療介護支援事業

株ユニテックソフト  
エンジニア派遣事業

建設業界の人材不足と高齢化に  
事業を通じて正面から取り組み、  
飛躍的な成長を遂げてまいります



代表取締役会長兼社長 佐藤 真彦

第36期第2四半期累計期間（2013年10月1日から2014年3月31日まで）の中間株主通信をお届けするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

1980年に施工図の作図を目的とした設計事務所としてスタートした当社は、30年以上にわたって常に建設業と関わってきました。特に1991年に本格的に開始した建築技術者派遣事業では、より深く建築の現場との関係を構築してまいりました。事業開始当時は、ゼネコンを中心として建設業界も大量に人材を採用していましたが、バブル経済の崩壊とともに業界の受注も大きく後退し、1990年代後半から、建設業の就業者数は減少の一途を辿ることとなります。現在では、ピーク時の4分の1の人員が建設業から流出し、しかも新卒の採用をほとんど行ってこなかったため、就業者の高齢化が大きな問題となっています。

当社の展開する建築技術者派遣事業は、この問題に正面から取り組むことで社会への貢献を目指しています。建設業は、リーマン・ショック後の2010年を底に持ち

直しの傾向を見せ、特に2020年の東京オリンピック開催に向け、受注の増加が一層鮮明になっていくものと思われれます。こうした環境下で、建設業の人材不足は看過できない状況になっています。

現在、建築技術者を大量かつ迅速に派遣できる会社は、当社において他にはありません。長年培ってきた現場との関係は、一朝一夕に構築できるものではなく、当社のスキルやノウハウが建設業界における問題解決の一助となることを望んでいます。

当社は今、2013年9月期からスタートした中期経営計画に取り組んでいます。同計画は、業績を飛躍的に拡大させるための成長戦略です。建築現場のニーズに 대응して、多くの人材を派遣するため、これまでにない大量の人材採用に踏み切っています。着実に同計画を遂行し、大きな成長へとつなげてまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2013年12月、新たに役員に就任した大原専務に、今後の事業戦略等をお聞きしました。



専務取締役 大原 智彦

**Q** 新役員としての抱負をお聞かせいただけますでしょうか。

昨年の定時株主総会において取締役を選任され、現在は、専務取締役として業務にあたっています。

建設業界では今、人手不足と就業者の高齢化が大きな問題となっています。若手の人材不足が建設業発展のボトルネックと言われる現状に対し、当社が中核事業として取り組んでいる建築技術者派遣事業は、この問題解決に向けて真剣に取り組んでいます。当社の技術者派遣のビジネスモデルは、建設業界全体の成長に貢献し、ひいては日本経済全体に好影響を与えていくと考えています。一企業の人間ではありますが、私は、この大きな流れにおいてその一役を担うつもりで仕事をしていきたいと思っています。

**Q** 建築技術者派遣事業のビジネスモデルや強みをお教えてください。また、市場環境についてもお聞かせください。

建設業界の現状は、2010年度を底として回復傾向が顕著となっています。特に2020年開催の東京オリン

ピックに向けて、様々な特需が発生しています。一方で、建設業界は長期にわたる就業者数の減少によって、人員の不足が顕在化しています。さらに、ゼネコン各社が、バブル崩壊以降に新卒社員の採用を抑制したこともあって高齢化が進み、3人に1人が55歳以上という状況です。

このような市場環境において、当社が展開する建築技術者派遣事業では、技術者を正社員として積極的に採用し、顧客ニーズに最大限に応えるべく、建築現場に技術者を派遣しています。当社の派遣領域は、現場の管理者をサポートする施工管理業務です。

当社の強みは、創業時から培ってきたお客様との太いネットワークとそれを拡大する営業力の強さであり、その源泉として、ニーズに応じて若い建築技術者を供給できる強力な人材採用力であると言えます。特に若手の採用人数は、年間1,000人以上の規模となっており、他社の追随を許さない強みとなっています。

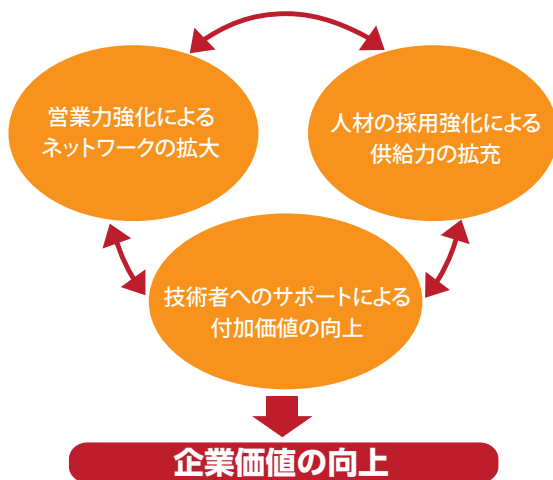
さらに当社は、「スピード」と「実行力」を重視し、新しい施策等に積極的にチャレンジしていく文化が根付いている会社です。人材採用サテライトオフィス「夢探索カフェ」の全国展開や、女性技術者派遣への注力など、他社では考えもつかないような発想で業界をリードしていきたいと考えています。

**Q** 特に重要視されている施策や戦略は何でしょうか。

当社では、2017年9月期を最終年度とした中期経営計画を策定しています。この経営計画の遂行こそが現在の私に課せられた任務であると考えています。

中期経営計画の最大のポイントは人材採用の強化です。優秀で意欲の高い技術者をお客様に派遣していくことが、業績の拡大につながります。同計画では、毎年1,600人以上の若手技術者を採用し、建築技術者5,000人以上の体制構築を目指しています。新規採用者は、入社後にしっかりと研修を受けて現場に派遣されますが、

### 建築技術者派遣事業の成長モデル



そのフォローアップにも力を注いでいきたいと考えています。現場に派遣された技術者とコミュニケーションをとり、技術者一人ひとりをしっかりとサポートしていくこと、これは地道なことですが、お客様の現場における技術者の貢献度を高めることが、次の業績につながっていくと考えています。

また、事業拡大という観点からすると、新規のお客様を増やすことでネットワークの拡大を目指します。営業力を強化し、首都圏を中心とする旺盛な技術者派遣ニーズを確実に獲得してまいります。

### Q 夢真ホールディングスの将来像をどのように考えていらっしゃいますか？

この仕事を始めて感じたことですが、建設業に携わりたい、あるいは携わりたかったという若者が実に多いということです。ゼネコンを中心とした建設業は、数年前までほとんど人材の採用は行っていませんでした。環境が好転した現在でも、建築現場におけるマネジメント業務の門戸が大きく広がったとは言い難い状況です。建設

業への夢をあきらめていた若者に、ぜひ当社の採用へチャレンジしていただきたいと思います。その機会を拡大するためには、当社の飛躍的な成長と知名度の向上が求められていると感じています。「ここにいたら成長できる。夢が実現できる」との認識が拡散することで、多くの建設業を目指す若者が集まり、それがまた企業を成長させ、世の中になくってはならない存在となる、そうした将来像を描いています。

### Q 最後に、株主の皆様に対してメッセージがございましたらお聞かせください。

現在、私は、営業統括業務のほか、人材採用部門、人材管理部門を担当しています。私が今の会社に入る前は、シンクタンクで経営コンサルタント業務や投資会社で投資先企業の企業価値を高める仕事をしてきました。それゆえに、まずは当社において、企業価値の向上に全力を傾けてまいります。株主の皆様には、企業価値を高めることで、株主還元に努めてまいります所存です。

今、夢真ホールディングスは、非常に若くて活気に満ち溢れた会社となっています。私も「夢」を持ってこの会社に入り、これからそれを「真」にすべく取り組んでいる若者の一人であると自負しています。企業の内部から企業価値を高め、それによって建設業界が発展し、日本の経済を支える、そんな大きな夢を持って事業に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、さらなるご指導とご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

### 大原専務の略歴

2000年に(株)野村総合研究所入社、2005年に大和証券エスエムビーシープリンシパル・インベストメンツ(株)、さらに2010年には(株)企業再生支援機構に転じ、様々な会社の企業価値向上に関わる。2013年、当社に入社。1974年生まれ。

## 事業の概況

建設業界は、復興関連予算の執行による政府建設投資の増加が下支えとなり、また、民間設備投資も増加基調で受注環境は回復傾向が鮮明になっています。特に、首都圏での改修・補修工事、耐震補強工事の増加、住宅ローン減税の延長および増税前の駆け込み需要等による新設マンション着工戸数の増加等、その需要は顕著となっています。一方、このような市場環境に対し、職人およびゼネコン各社が抱える施工管理者の「高齢化」「若手不足」が深刻化しており、全国的に建設業者が不足する事態が生じています。

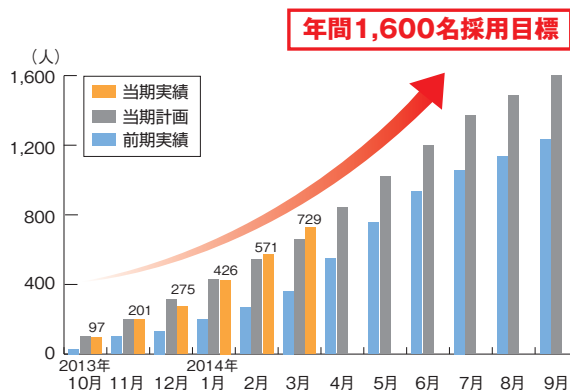
当社では、こうした状況に加え、オリンピック関連工事など今後の技術者派遣需要の増加を見込み、中核事業である「建築技術者派遣事業」に経営資源を集中させる戦略をとっています。当社は、建設業界の深刻な人手不足を受け、採用活動に注力しており、2014年3月末時点で2,000人を超える技術者数となりました（前年同月は1,209人）。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高7,966百万円（前年同期比29.9%増）、営業利益872百万円（前年同期比12.9%増）、経常利益1,976百万円（前年同期比106.7%増）、四半期純利益1,418百万円（前年同期比142.9%増）となりました。

## 中期経営計画の進捗について

現在推進中の中期経営計画におきまして、2014年9月期の目標数値を売上高18,000百万円、経常利益3,200~4,200百万円、当期純利益2,100~2,600百万円としています。また、重点課題として掲げる新人技術者の採用につきましては、上半期で660人、下半期で940人の合計1,600人の採用を目指しています。その進捗については、売上高44.2%、純利益67.5%となっており、また、人材の採用活動も計画を上回るペースで推移しているため、下半期および来期以降への業績へ寄与してくると予想されます。

2014年9月期の月次採用実績と目標



	2014年9月期 第2四半期累計	年間目標に対する進捗率
売上高	7,966 百万円	44.2%
経常利益	1,976 百万円	61.7%
四半期純利益	1,418 百万円	67.5%
人材採用数	729 人	45.5% (上半期目標達成率 110.4%)

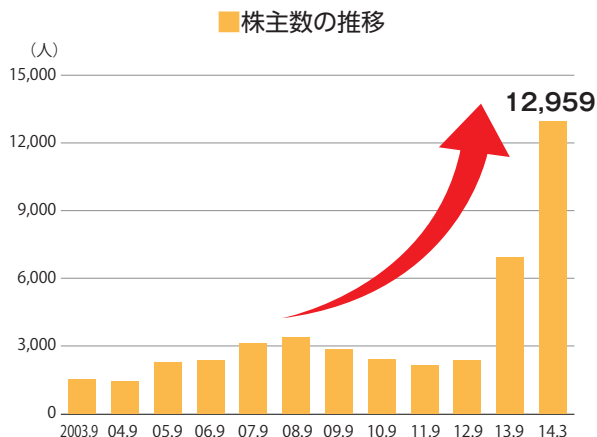
ご参考：中期経営計画の目標数値

(百万円)

	2013/9期実績	2014/9期	2015/9期	2016/9期	2017/9期
売上高	12,537	18,000	25,500	33,000	39,500
経常利益	1,771	3,200~4,200	5,300	7,800	10,000
経常利益率	14.1%	17.8%~23.3%	20.8%	23.6%	25.3%
当期純利益	1,388	2,100~2,600	3,200	4,700	6,000

## 株主様の数が大幅に拡大しています

当社は、株主様や投資家の皆様に、迅速かつ適時な経営情報の開示に努め、株式市場において適正な評価を受けるため、IR活動を積極的に展開しています。株主様にはより長期に当社株式をご保有いただくとともに、新たな株主様の拡大を目指して、開示が義務付けられている制度開示のほか、個人投資家説明会開催やIRイベントへの参加、株主通信の充実等に注力しています。2012年10月に発表した中期経営計画は、当社の成長戦略を具体的に明示した内容でしたが、IR活動において、その詳細な推進方法と進捗の報告を様々な機会を通じて行いました。おかげさまで株主様の数は、中期経営計画発表後、5倍以上の大幅な増加となっています。



## 建設業界で注目！女性施工管理士に聞く

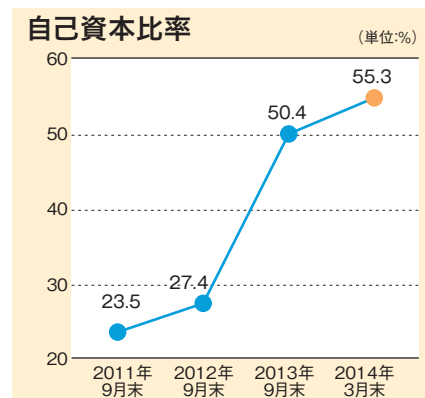
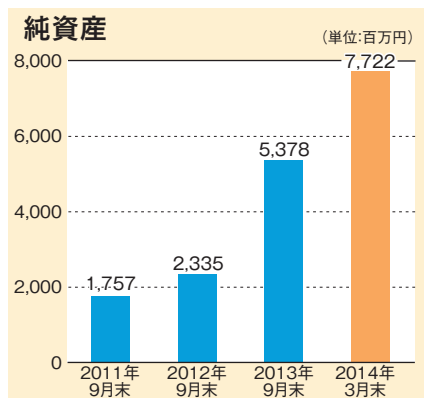
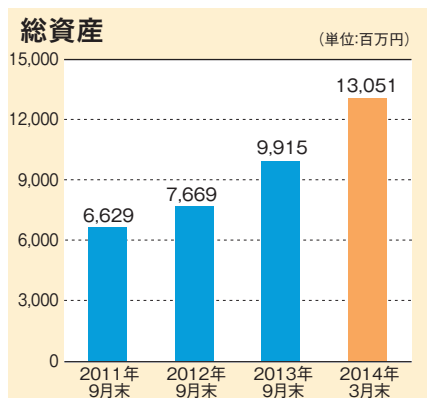
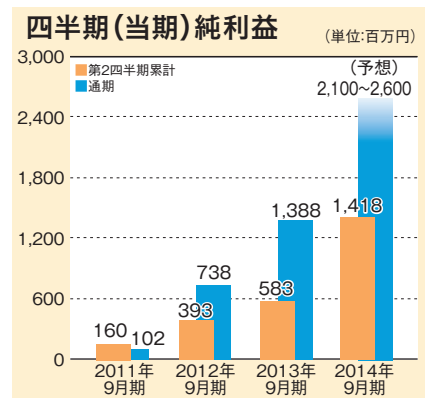
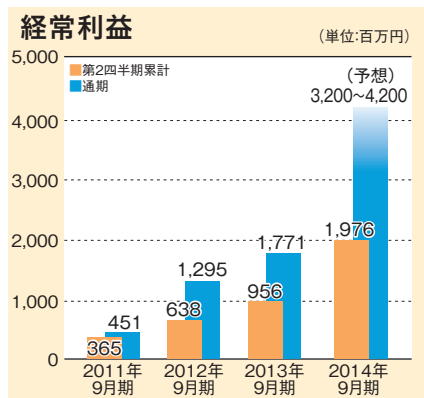
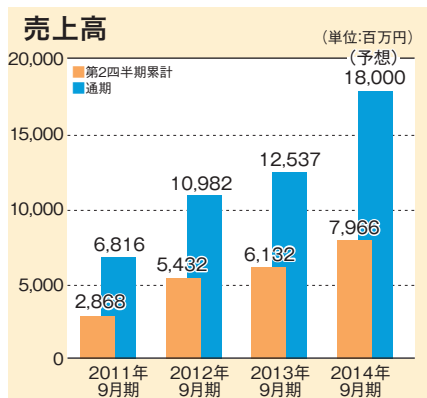
当社の建築技術者派遣事業において、女性技術者の活躍が業界の注目を集めています。施工管理士として働く井上さんにお話を伺いました。

私は、約1年前に不動産の営業から当社のCADオペレーターとして途中入社しました。CADオペとしての研修を受けた後、最初に指示された業務は施工管理のしごとでした。建築の現場に携わるのはもちろん初めてでしたので最初は戸惑いもありました。業務としては、現場の施工写真の撮影や新たに入場する作業員への説明、現場の職長との打ち合わせなどを行っています。初めは写真を撮るだけの仕事しか与えられなかったのですが、最近では工事現場の移設を担当させてもらえるなど、充実した日々を送っています。女性としてのメリットを発揮して、現場の潤滑油のような存在を目指しています。建築の仕事は多岐にわたる工程や業務が複雑に連携して成り立っています。現場

を経験することは、自身のキャリア形成に大きな効果をもたらすと思います。



女性施工管理士として活躍する井上さん  
(2013年入社)



## 売上高

中核事業である建築技術者派遣事業において、派遣需要の旺盛な推移を背景とした積極的な採用活動の結果、当第2四半期累計の入社社員数は729人、当第2四半期末の在籍技術者数は2,082人となり、その結果等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比29.9%増加しました。

## 資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べて3,135百万円増加し、13,051百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加1,764百万円、受取手形及び売掛金の増加488百万円等によるものです。



## 連結貸借対照表

(単位:千円)

区 分	当第2四半期 2014年3月31日現在	前 期 2013年9月30日現在
<b>【資産の部】</b>		
流動資産	<b>9,758,383</b>	<b>6,457,474</b>
固定資産	<b>3,292,762</b>	<b>3,458,082</b>
有形固定資産	1,443,584	1,465,230
無形固定資産	456,583	552,963
投資その他の資産	1,392,593	1,439,888
資産合計	<b>13,051,145</b>	<b>9,915,557</b>
<b>【負債の部】</b>		
流動負債	<b>3,680,604</b>	<b>2,455,366</b>
固定負債	<b>1,648,065</b>	<b>2,082,146</b>
負債合計	<b>5,328,670</b>	<b>4,537,513</b>
<b>【純資産の部】</b>		
株主資本	<b>7,264,288</b>	<b>5,042,237</b>
資本金	805,147	805,147
資本剰余金	3,802,770	2,204,895
利益剰余金	3,669,343	3,322,668
自己株式	△ 1,012,972	△ 1,290,472
その他の包括利益累計額	<b>△ 48,647</b>	<b>△ 45,912</b>
その他有価証券評価差額金	△ 48,647	△ 45,912
新株予約権	<b>18,445</b>	<b>5,518</b>
少数株主持分	<b>488,388</b>	<b>376,199</b>
純資産合計	<b>7,722,475</b>	<b>5,378,043</b>
負債純資産合計	<b>13,051,145</b>	<b>9,915,557</b>

## 連結損益計算書

(単位:千円)

区 分	当第2四半期累計 自 2013年10月 1日 至 2014年 3月31日	前第2四半期累計 自 2012年10月 1日 至 2013年 3月31日
売上高	<b>7,966,017</b>	<b>6,132,678</b>
売上原価	5,716,624	4,288,011
売上総利益	<b>2,249,393</b>	<b>1,844,667</b>
販売費及び一般管理費	1,377,168	1,072,329
営業利益	<b>872,225</b>	<b>772,337</b>
営業外収益	1,149,195	236,441
営業外費用	44,467	52,431
経常利益	<b>1,976,953</b>	<b>956,347</b>
特別利益	300,556	—
特別損失	16,630	29,338
税金等調整前四半期純利益	<b>2,260,880</b>	<b>927,009</b>
法人税、住民税及び事業税	887,727	332,270
法人税等調整額	△ 69,277	△ 14,945
少数株主利益	24,058	25,733
四半期純利益	<b>1,418,371</b>	<b>583,951</b>

### 負債

当第2四半期連結会計期間における負債の残高は、前連結会計年度末に比べて791百万円増加し、5,328百万円となりました。これは主に未払法人税等の増加506百万円、借入金の増加175百万円等によるものです。

### 純資産

当第2四半期連結会計期間における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて2,344百万円増加し、7,722百万円となりました。これは主に資本剰余金の増加1,597百万円、四半期純利益1,418百万円、剰余金の配当による減少1,071百万円等によるものです。

- 発行可能株式総数 160,000,000株
- 発行済株式総数 74,573,440株
- 株主数 12,959名

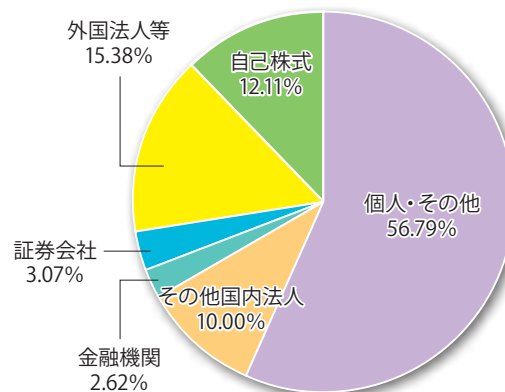
## ■ 大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
佐藤 眞吾	24,885	33.37
有限会社佐藤総合企画	7,344	9.85
佐藤 淑子	2,228	2.99
JP MORGAN CHASE BANK 380084	1,421	1.91
CMBL S.A. RE MUTUAL FUNDS	1,190	1.60
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,022	1.37
UBS SECURITIES LLC - HFS CUSTOMER SEGREGATED ACCOUNT	882	1.18
深井 英樹	880	1.18
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE 10PCT TREATY ACCOUNT	714	0.96
CREDIT SUISSE SECURITIES (USA) LLC SPCL. FOR EXCL. BEN	682	0.92

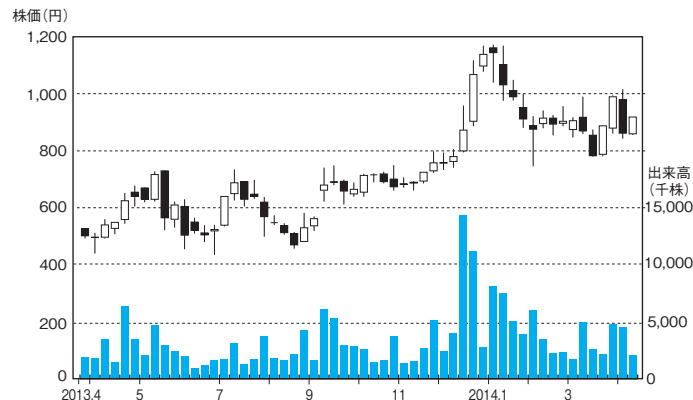
(注) 上記のほか、自己株式が9,032千株(発行済株式総数の12.11%)あります。

## ■ 株主分布状況

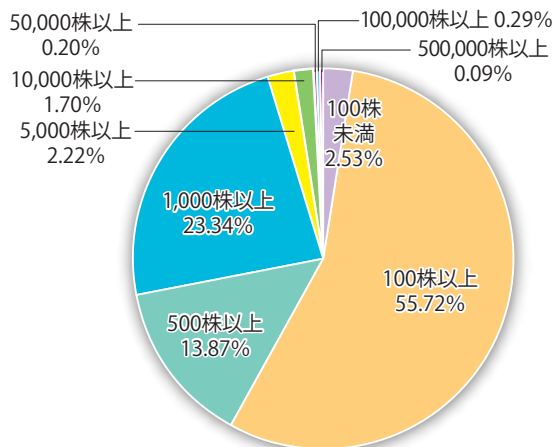
### 所有者別分布状況(株式数比率)



## ■ 株価の推移



### 所有株数別分布状況(株式数比率)



社名	株式会社 夢真ホールディングス	上場証券取引所	東京証券取引所 (JASDAQスタンダード市場)
本社	東京都文京区大塚3-11-6 大塚三丁目ビル	証券コード	2362
設立	1980年1月	役員	
代表者	佐藤 真吾	代表取締役会長兼社長	佐藤 真吾
資本金	8億514万円	専務取締役	大原 智彦
従業員数	連：3,101名、単：2,198名	取締役	佐藤 大央
事業内容	建築技術者派遣事業 エンジニア派遣事業 子育て支援事業 医療介護支援事業	取締役	友松 成夫
		常勤監査役	高橋 宏文
		監査役	松本 幸夫
		監査役	六川 浩明

## IR伝言板

2014年1月以降のIRスケジュールです。海外の機関投資家にも積極的にIR活動を展開しています。

2014年 1月29日	東京IPO IRセミナー 2014 (東京)
2014年2月24日～26日	米国IRロードショー (機関投資家訪問)
2014年 4月17日	東京IPO IRセミナー 2014 (東京)
2014年4月23日～24日	香港IRロードショー (機関投資家訪問)
2014年5月12日～16日	米国IRロードショー (機関投資家訪問)
2014年 5月13日	個人投資家向け説明会 (東京)
2014年5月19日～21日	アクセスアジア (機関投資家向け説明会・シンガポール、香港)
2014年 5月24日	東京IPO IRセミナー 2014 (東京)
2014年 5月28日	2014年9月期 第2四半期 決算説明会
2014年 5月28日	個人投資家向け説明会 (東京)
2014年 6月10日	ロンドンカンファレンス (英国)

### 2014年2月21日～22日 東証IRフェスタ2014に参加

「株式投資がもっと身近になる2日間。」をテーマに開催された東証IRフェスタに本年も参加しました。2日間で17,000名を超える来場者があり、当社のブースや説明会も大盛況となりました。



## ホームページのご紹介



当社ホームページの「株主・投資家情報」では、過去の決算短信などのIR情報を見ることができます。

新卒・中途採用強化の一環として「採用ページ」の充実を常に図っています。

ホームページ  
<http://www.yumeshin.co.jp/>

### 株主メモ

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日
定時株主総会	毎年10月1日から3カ月以内に開催
基準日	定時株主総会：毎年9月30日 期末配当金：毎年9月30日 中間配当金：毎年3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
証券コード	2362

#### 【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社にてお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 (通話料無料)	フリーダイヤル 0120-782-031
公告の方法	当社のホームページに掲載します。(http://www.yumeshin.co.jp/)ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に掲載します。

## 株式会社夢真ホールディングス

〒112-0012 東京都文京区大塚3-11-6大塚三丁目ビル



古紙配合率70%再生紙を使用しています

